

オーストラリアレポート

豪州準備銀行は5会合連続で政策金利を据え置き

- 豪州準備銀行 (RBA) は大方の市場予想通り、政策金利を1.50%で据え置き。金利据え置きは5会合連続となる。
- 声明文では概ね従来通りの国内景気判断が示される。RBAは向こう2年間の豪経済成長率を年率3%程度と予想。
- 2016年10-12月期のインフレ率は予想通りの結果となり、RBAのインフレ見通しも大筋変化していない模様。
- 資源価格上昇により豪州の貿易黒字は過去最高額を更新。RBAの政策金利は2018年まで据え置きの見方が大勢。

RBAは5会合連続で政策金利を据え置き

豪州準備銀行 (RBA) は2月7日の金融政策理事会で、大方の市場予想通り、政策金利を1.50%で据え置く決定を下しました (図1)。政策金利据え置きは2016年9月以降、5会合連続となります。

RBAは従来通りの国内景気判断を示す

今回の理事会はRBAの経済予測の改定月であることから、足元の物価や雇用などの経済統計を受けたRBAの経済見通しの変化に注目が集まりました。

RBA理事会の声明文では、①向こう2年間の豪州の経済成長率は年率3%程度での推移が見込まれる、②労働市場は引き続き強弱が入り混じった状態にある、③2016年10-12月期の消費者物価指数 (CPI) は予想通りの結果となり、RBAのインフレ見通しは大筋変化していない、と従来通りの国内景気判断が示されました。RBAの経済見通しの詳細は、2月10日公表の四半期金融政策報告で明らかにされる予定です。

資源価格上昇から貿易黒字が過去最高額を更新

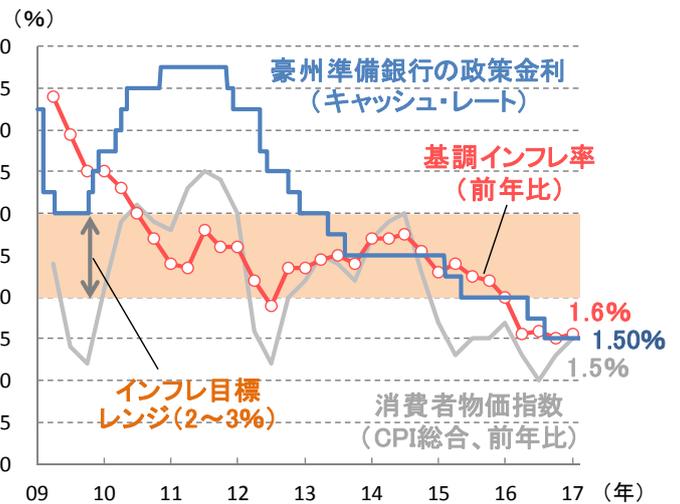
一方、外部環境の面では、RBAは世界経済状況の改善に言及し、資源価格の上昇が交易条件改善を通じて豪州の国民所得を押し上げているとの見方を示しました。

実際、2016年12月の豪州の貿易収支 (財・サービス収支) は、資源輸出の拡大にけん引され、35.1億豪ドルと過去最高額の黒字を更新しました (図2)。米トランプ政権の発足以降も豪ドル相場が安定を維持している背景には、こうした貿易収支改善などの要因があると考えられます。

政策金利は2018年まで据え置きとの見方が大勢

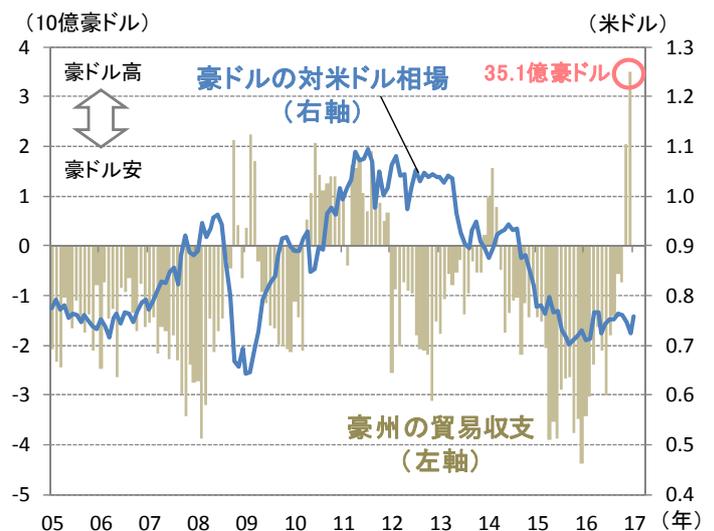
今回のRBA理事会でもロウ総裁は先行きの金融政策に関する方針は示さず、様子見姿勢の継続を示唆しました。金融市場ではRBAの政策金利は2018年まで1.50%で据え置かれるとの見方が大勢となっています。

図1：豪州準備銀行 (RBA) の政策金利とインフレ率



(出所) 豪州準備銀行 (RBA)、豪州政府統計局 (ABS)
(期間) 基調インフレ率：2009年1-3月期～2016年10-12月期
政策金利：2009年1月1日～2017年2月7日
(注) 基調インフレ率は消費者物価指数 (CPI) のトリム平均値 (平均値を算出する際、データの最大値と最小値付近の値を計算から除外) と加重中央値の平均により算出。

図2：豪州の貿易収支と豪ドル相場



(出所) RBA, ABS
(期間) 2005年1月～2017年1月 (貿易収支は2016年12月)

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。